

# TAKASU

みんな笑顔であったかす  
広報たかす

2015年 10月号  
No.769

[特集] 鷹栖町老人会 60周年



「鷹栖の食材 おいしいね!」  
鷹栖町産給食の日(8月27日、北野小学校)



# 60

## 周年

### 節目迎えた鷹栖町老人会



#### メロディーホールで記念式典

町老人会が設立から60周年の節目を迎えたことを祝い、老人の日で設立の記念日でもある9月15日に、たかすメロディーホールで記念式典が行われました。

老人会は1956年に、70歳以上の会員275人で「鷹栖町老人会」として結成され、道内の老人会としては帯広市に次ぐ2団体目の設立と記録されています。

設立当初は高齢者の生活福祉向上のために村への要望活動などを精力的に行い、村条例による77歳以上の高齢者への福祉年金支給を決定させたほか、1957年には道議会への請願活動が実り、北海道から88歳以上の高齢者への6千円の老齢年金支給を決定させた歴史もあります。

現在は、60歳以上の896人（9月15日時点）が会員に名を連ね、22の単位老人会と、文化・スポーツ活動などを行う30の趣味クラブで、健康づくりや生きがいづくりに日々取り組んでいます。

この日の記念式典では、長原和夫会長が「人生80年90年という長寿社会を迎えた中、

人間らしい喜びと安らぎを得るため、友として語り合う活動を続けていきましよう」とあいさつ。また、特別表彰として、老人会の運営に功績のあった会員に記念の盾が授与されました。

代表して表彰の授与を受けた森脇謙一郎さん（左写真・2009年から4年間の会長）は「このように表彰いただき感謝の気持ちでいっぱい。これからもぎやかで楽しい老人会活動を続けたい」と話しました。

式典終了後には、老人会会員が町民を招待して日頃の活動の成果を発表する「第43回長生き感謝祭」（上写真）が開催され、大勢の来場者を楽しませていました。



# 自立自営 60年の歩み

設立以来「自分たちで計画し、自分たちで実践する」自立自営の組織として、福祉の向上のための要望、会員の健康・生きがいづくり、地域での交流と様々な活動を展開してきた老人会。

数多くの笑顔を生み出してきた60年間の歩みを振り返ります。

## 第1回長生き感謝祭を開催

「1年364日が敬老の日、せめて9月15日くらいは恩返しを」と、それまで町主催で行われていた「敬老会」を返上し、町長や町民を招待して芸能発表等でおもてなしをする「長生き感謝祭」を初開催。今なお画期的な取り組みとして続くこの催しは、1984年にはNHKで全国放送されている。前年の1972年に、老人大学（現ななかまど大学）が開設された。

## 設立30周年で記念誌発刊

開拓からの苦労や思い出を会員がつづった「たかす開拓物語」を記念誌として発刊。



▶全251ページのたかす開拓物語

## 鷹栖村老人会設立

荒運治初代会長のもと、会員275人で設立。総会では、トラック5台による送迎が行われ、出席者に紅白まんじゅうや昼食のパン、牛乳が配られたとある。翌年には道議会への請願活動を行う。（2ページ参照）

1956年



▲道議会へ請願した一行

1965年

## 設立10周年記念式典

10周年を記念して会旗の製作を行う。この会旗は、今年の記念式典でも壇上に登場した。



◀今年の式典に登場した会旗

1973年

1977年

## 老人会だより第1号発刊

現在は第68号まで続く老人会だよりはこの年に創刊。第2号では、サンホールはびねす建設以前に活動の拠点としていた老人保健センターで、「園芸クラブが育てたバナナの木にどっさりと実がなり豊作だった」と紹介している。この頃はキャンプ行事が盛んに行われ、同年、洞爺湖で行われたキャンプに200人が参加している。

1985年

2002年

## 友愛活動でモデル指定

ひとり暮らし高齢者や介護施設を訪問して交流をする友愛活動で、北海道老人クラブ連合会からモデル指定を受ける。町老人会ではこれ以前より、1977年に設立された「友愛訪問クラブ」で同様の活動を熱心に続けていた。

2005年

▶老人会だより創刊号



2015年

現在

## 設立50周年記念式典

町総合体育館で盛大に行う。この年の会員数1,362人。20年、30年後に立派な木に成長することを期待して、パレットヒルズで桜の苗木の植樹も行った。

# 目次



- 2 特集 鷹栖町老人会60周年
- 6 鷹栖町産給食の日
- 7 続々登場! MADE IN たかす
- 8 ローソンさんのコラム
- 9 町長コラム
- 10 10・11月のイベント情報
- 12 子育て応援コラム
- 14 今月の話題
- 18 マイナンバー制度が始まります
- 今月のお知らせ
- 14 今月のお知らせ
- 18 注目の人
- 三上 敬一さん



# 元気をつくる老人会活動

—お互い様、おかげさまで広がる笑顔—

ひとり暮らし高齢者宅や介護施設を会員が訪問し、地域での孤立を防ぐ「友愛活動」。1977年に友愛訪問クラブが発足して活動が始まり、現在では単位老人会ごとに友愛活動部長を配置するなど、町老人会全体で中心的事業として取り組んでいます。

9月中旬にさつき苑を訪れた石田初美さんと大島スミエさん（ともに喜楽会）は、持参した折り紙を手に入居者の方と会話を楽しんでいます。訪問を受けた佐竹キミ子さんは友愛訪問について「とても良いこと。話をするのをいつも楽しみにしています」とにこやかな表情。

友愛活動がモデル指定を受けた当時の事務局長、新田芳夫さんは「昔なじみの人がいたり、会話をすると互いに嬉しくなります。ボランティア活動は僕の元気の源」と、現在も21区の活動部長として熱心に見守りに取り組んでいます。



## 「友愛活動」

ひとり暮らし高齢者や施設を訪問

1979年に「健康で長生き」をモットーに活動を開始。現在は会員数32人、サンホールはびねすを活動拠点に週1回、DVD映像を見ながらの健康体操などに取り組んでいます。

「健康には運動が1番。60歳で老人会に入会してから91歳の今年まで、1年も休まずに活動に参加しています」と話すのは、体操クラブ創設からのメンバー田村キクノさん（写真中央）。田村さんはふまねつとやゲートボール、町主催の教室など、毎日のように様々な活動に積極的に参加する元気印です。

活動が続くと疲れを感じる日もあるそうですが「休むと皆心配して電話をくれるんです、顔だけでも出して。背中を押してくれる仲間がいるから頑張ろうと思うし、逆に皆が私を見て『負けないぞ』って思ってくれたら嬉しい」と、仲間がいる大切さを話していました。



## 「体操クラブ」

～頑張れるのは仲間のおかげ～

クラブは老人会軽スポーツ教室をきっかけに2005年に発足し、週1回の例会のほか、部内大会を開催するなど精力的な活動を展開。現在は54人が登録し、健康づくりにも効果的と、町内で密かな卓球ブームを引き起こしています。

活動では通常より直径が大きく、スピードが落ちるため高齢者向けと言われる「ラージボール」を使用。会員も半数以上が初心者と「ラケット1つで手軽に参加できる一方、目や足も動かして瞬時の判断力で脳も刺激する健康効果が、人気の理由では」と事務局の荒肥立さん。

74歳から卓球を始めたという伊藤昌兵さん（写真）は「例会が終わるとぐっしょり汗をかくほどの運動量。元気で楽しく長生きが皆の目標で、いつでもさわやかな気分になれるほど、仲間の雰囲気が高に良いのがクラブの自慢」と、活動で皆と会うことが楽しみだそう。



## 「卓球クラブ」

健康効果で密かなブーム

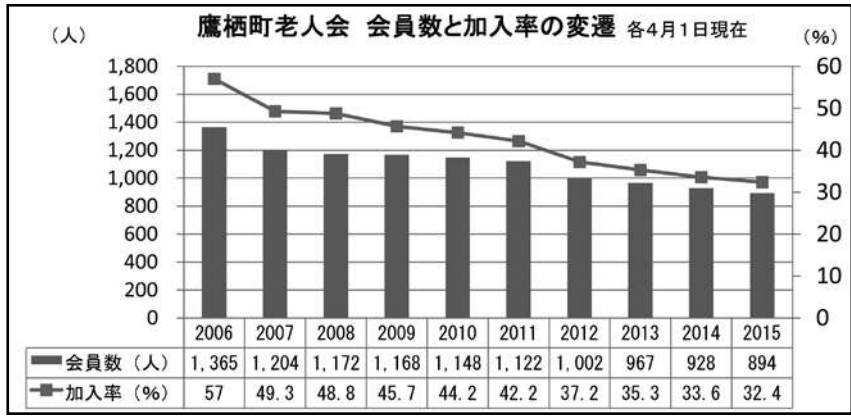


# 老人会加入率 過去10年でおおよそ半減 「お互い様の実現に会員数の増加に期待」

設立以来60年間、町内で高齢者の生きがい・健康づくりの中心的役割を担ってきた老人会。果たす務めは変わらざとも、時代の移り変わりとともに取り巻く状況は変化しています。

現在の老人会の加入要件は60歳以上。2006年に1350人を超え、加入

▼資料提供：社会福祉協議会



率（入会可能な人口に対する会員数）60%近かった会員数も、ここ10年で人数は900人を下回り、加入率も3割の水準に。全道的にも同様の傾向で、道内の会員数はピーク時の半数程度となつています。

高齢化の進展により60歳以上の層が膨らむ一方、会員数の減少に歯止めがかからない背景には、ライフスタイルの変化が指摘されます。1次産業従事者、会社勤めともに60歳を超えても現役という人が増えるとともに、趣味の多様化や社会環境の変化により、必ずしも地域組織に属することがスタンダードではなくなりつつあります。

しかしながら超高齢化といわれる社会を迎える今こそ、60年の歩みをつなぎ「お互い様」の関係を地域に広げてきた老人会活動の重要性が、ますます高まる時代といえます。

全道的にも動き出した会員数増加の取り組みに期待がかかります。

# 「生きがい」を1人でも多くに 「出口ハル子さんが道老連の副会長に就任」

町老人会の副会長を務める出口ハル子さん（14線4号）が今年6月から、全道の老人会の連合組織「北海道老人クラブ連合会（会員数約14万3千人）」の副会長（兼女性委員長）に就任されました。

町内はもとより、上川管内から同会の役員が選出されたのは「初」とのこと。で「長年、町や管内の役員をしてきたことで、声がかかったのだと思います」と出口さん。就任後には札幌市で開催される会議にも通つていきます。



▲道老連副会長として高橋はるみ知事と会談

出口さんが老人会に加入したのは60歳の時。「それまで夏は水田、冬は山仕事など忙しく、あまり地域の行事に参加できなかった」そうですが、部落の人に誘われて入会。翌年にはすぐに役員に推薦され「人のためになるのなら」と、家族の理解もあつて快諾。以来82歳の今日まで老人会の運営を支えてきました。

趣味クラブでは「北野歌謡愛好会」に所属し、「声を出すことは体に良いですよ。私は健康が取り柄で、これまで出産以外で入院したことがないんです」と話す出口さん。週1回の活動を楽しみにしていて、お気に入りには氷川きよしさんの曲だそうです。

出口さんのもう1つの健康の秘訣が農作業。特に1袋30kgの米袋を持ち運ぶ精米作業は今でも出口さんの仕事だそうで、その数は年間約600袋ほどにもなるとのこと。「こうして体を動かすことがやっぱり健

康に良いんでしょう。小林勝彦元町長はうちのお米を気に入ってくださって、今でも私がお家族に送り続けているんですよ」と笑顔で話してくださいました。



※右下写真は長生き感謝祭で司会を務めた時の出口さん。

「役員をしていると自分なりに頭で色々と考えているので、これも健康の秘訣かも」と出口さん。鷹栖町、そして北海道の仲間のために、ますます活躍の機会が増えそうです。

A1. 燃やせないごみ専用袋（黄）です。それ以外の袋はこれまでどおり使用できます。



## — 町内で初めて「鷹栖町産給食の日」を実施 —

鷹栖町産の食材ばかりを使用した献立で給食を提供する「鷹栖町産給食の日」が、8月27日に町内の小中学校で初めて実施され、旬な野菜や鷹栖牛を使ったメニューに児童らが舌鼓を打ちました。

町内の小中学校の給食では、これまでもお米は通年で町産のものを使用していますが、献立全体を町産食材で賄うのは初めて。子どもたちに地元の豊かな食材と生産者の方の努力に関心を高めてほしいと企画されました。

クラスで真っ先にカレーライスをおかわりしていた泉翔くん（北野小3年）は「鷹栖牛がやわらかくておいしい。いつもの給食より楽しかったです」と満面の笑み。鈴木靖士郎くん（北野小3年）は「鷹栖町のトマトジュースがおいしいから好き」と、全てきれいにたいらげていました。

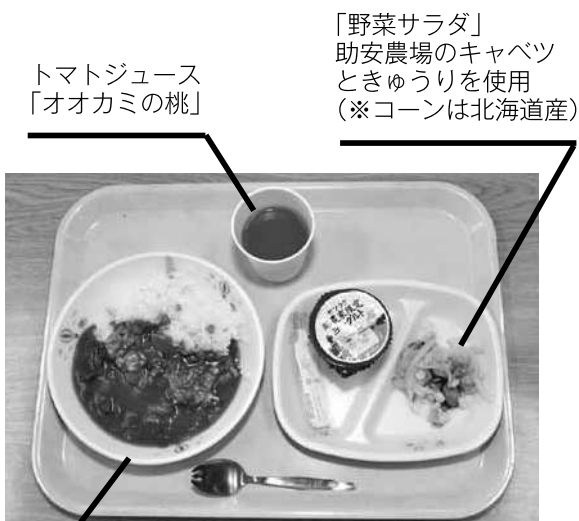
献立を作成した中西栄養教諭は「思った以上に子どもたちの反響が大きく、これからもできる限り町産野菜をメニューに取り入れるなどしたい」と話していました。



北野小学校  
小川 倫央 教諭  
(3年2組担任)

普段の給食でもここまできれいに残食なく食べきることはなかなかないので、とてもおいしかったんだと思います。

自分たちの住む町にこんなにもおいしいものがあることを知った子どもたちは、町が好きになると思います。3年生は社会科で地域のことを勉強しているので、鷹栖町産給食のような取り組みは、勉強にも結びついてとても良いですね。



トマトジュース  
「オオカミの桃」

「野菜サラダ」  
助安農場のキャベツ  
ときゅうりを使用  
(※コーンは北海道産)

「鷹栖牛のカレーライス」  
お米はもちろん鷹栖町産（ななつぼし）  
新田ファームの鷹栖牛  
助安農場のじゃがいも、人参、玉ねぎを使用

「鷹栖町産給食の日」の献立



# 北野小3年生の教室で振り返る

## 鷹栖町産給食ハイライト



▲「おいしい！」が生む最高の笑顔♪

▼野菜サラダのおかわりを求めて行列



▲野菜の生産者「助安農場」助安誠二さん



▲カレー、ご飯、サラダ全てきれいに完食！



▶元気いっぱい「おいしい給食ありがとうございましたー」

# 続々登場の「MADE IN たかす」

## 鷹栖町産米パッケージが新登場

### この秋収穫の新米から

肥沃な大地と生産者の努力のもと、道内屈指のお米の生産地として知られる鷹栖町に、この度、初めてとなる「鷹栖町産米」ブランドのパッケージが登場しました。

これまで町内で生産されたお米は主に「JAあさひかわ」「JAたいせつ」の両農協の名前で流通していましたが、「良質米の産地として胸を張って町名を入れたい」と、製作に至りました。

品種は首都圏でも好評をいただいている「ななつぼし」。この秋に収穫された新米から「鷹栖町産米」パッケージでの提供が始まります。

まずは各種イベントでの販売やふるさと納税の記念品として提供。9月末からスタートした、町内の子育て世帯へ鷹栖町産新米を支給する取り組み（14ページ）も、この知らせをご覧ください。この新パッケージでのお届けとなります！



## 鷹栖町産の玄米がお茶に

### JAたいせつから「玄米入り緑茶」

鷹栖町（北野地区を除く）と旭川市東鷹栖地区をエリアに持つJAたいせつから、同JAの玄米を使用した「玄米入り緑茶」が発売されました。米どころである同地区をPRしようと、飲料メーカーの「宇治園」と連携して開発。玄米の香ばしさが優しく広がる飲み口。



町内では、スパイ鷹栖店、Da・マルシェ北野店、チコリ、とわ北斗売店で購入できます。

## Da・マルシェ北野店に

### 北野女性部の新鮮野菜コーナー

9月にオープンした「Da・マルシェ北野店」で、あったかす北野サロンの隣の一角に、JAあさひかわ北野支部女性部が収穫した新鮮野菜を販売するコーナーが設置されています。愛情たっぷりに育まれた地場の野菜を地元のお店で。今年10月末頃まで、様々な種類の野菜が色どり鮮やかに店頭に見込みです。



A2. 海外に古着として輸出されたり、ウエスとして再利用されています。



皆さんこんにちは！鷹栖カンガルーことローソンです。今年の大収穫祭は去年より早かったから鷹栖町の国際交流協会「鷹の翼」のブースはハロウィンイベントではなく、オーストラリアのお祭りでよくある「バルーン・ダーツ」を行いました。

参加者は、ダーツの矢で風船を割って中にある番号くじをゲットします。始めは風船がたくさんあったのでどんどん割れましたが、数が少なくなるともっと難しくなりました。テントに遊びに来てくれた皆さん、ありがとうございました。



8月の終わりに友達と沼田町のあんどん祭りを見に行きました。あんどんは映画かアニメでしか見たことがなかったので、すごく面白かったです。

説明を聞いた時、伝統ある神輿<sup>みこし</sup>同士の激しくぶつけ合い戦う祭りをイメージしたのですが、そうではなく僕のイメージしたものよりずっと素晴らしかったです。あれだけ大きなあんどんを作るにはどれだけの時間がかかるのでしょうか。

あんどん祭りを見に行く途中に雨竜町のサーキット場に寄り、ゴーカートに乗りました。オーストラリアでゴーカートはすごく人気で、コースもたくさんあるのですが今回が初挑戦でした。最初は怖いと思いましたが、感覚がつかめると自信が付き楽しむことが出来ました。すごく危ないけど、はまりそうです。

冬が少しずつ近づいて来ていますね。オーストラリア風に天気について表現してみます。少し長い文章ですが頑張ってください。

“I reckon it will be much colder than last winter!”  
(=今年の冬よりずっと寒くなると思う！)

“reckon”と“think”は全く同じ意味でオーストラリア人も“think”(～と思う)は使いますが、“reckon”(発音はレコン)に変えるとよりオーストラリアっぽい英語になります。

僕を見かけたら今度使ってみてください！！

#### 【鷹の翼主催】ローソンの『ゴール英会話教室』

- ▼日時 毎週火曜日《全7講座》午後6時～7時30分
  - ▼場所 プラザ・クロス10 ▼対象 中学生以上
  - ▼参加費 全7講座で1,000円
  - ▼問合せ 鷹の翼事務局 ☎87-2028
- ※詳しくは今月号の折込チラシをご覧ください。

昭和31年9月15日に設立された鷹栖町老人会が今年60周年を迎え、記念式典がメロディーホールで開催された。式典の前に控室で記念誌を進呈され、拝見すると老人会発足からの「健康・友愛・奉仕」の活動、会員皆様の人生回想など、戦中から現在までの軌跡が綴られており、老人会の『自らで考え自らで実践する』自立自営の精神が垣間見え、諸先輩のご労苦や未だ衰えることのない向上心に、つくづく敬服の念を抱く。

健康であることに感謝し、健康だからこそ皆に愛情深く、奉仕の心をもって、何事にも向き合う。今あることに満足することなく、更に良くなるように日々努力をする。

戦前から戦後の激動の時代、家族のため、社会のために、頑張ってきた「82年の人生」を凝縮した言葉を前に、私の精神が今までも増して奮い立たされた。

また、今年度は北海道老人クラブ連合会の副会長兼女性委員会委員長（会員数14万人超、女性会員8万人超）に出口ハル子さんが就任された。9月発売の「月刊メディアあさひかわ」に2ページにわたり掲載されているので、町民の皆さん

にも是非、紹介をしたい。「みんなの意見を聞きながら、お互いに感謝の気持ちを忘れずに仲良く、笑顔で活動する老人会にしたい」と、温和な表情で控えめだったそうだが、自分のことになると「健康が一番。健康であつたら、どんなことでも今の一つ上、二つ上のことができます。」と前向きに話された。

### 老人会の歩みと向上心

## あつたかす発 北の大地から

鷹栖町長 谷寿男





## 11月8日(日) コーディネーショントレーニング 親子体験会

各メディアで話題の運動能力向上法を親子で楽しく体験！昨年初開催で好評だった親子体験会を、広報たかす「子育て応援！コラム」でおなじみのNPO法人JACOTより講師を招いて行います。

- ▼日時 11月8日(日) 午後2時～5時
- ▼場所 町総合体育館
- ▼対象 幼児～小学生とその保護者(20組まで)
- ▼参加費 無料
- ▼申込み・問合せ  
教育課体育振興係 (☎ 87-2028)



▲「やったね！」「出来たね！」で親子の笑顔とコミュニケーションが満載。運動が苦手でも遊んでいる感覚で楽しめます。

## 10月12日(月) B&G秋のチャレンジデー 2015

春の全国一斉開催に対し、秋のチャレンジデーは3町の独自企画。「愛別町」「東神楽町」と対戦し、当日午前0時から午後9時までのあいだに15分以上運動や健康づくりを行った住民の参加率を競います！昨年の参加率は鷹栖町が34.1%、愛別町が30.2%、東神楽町が12.0%でした。生涯元気の町として今年も負けられません！

空き缶積み上げや握力測定で3町チャンピオンを決めるなど、楽しい当日イベントも盛りだくさん。詳しくは今月号の折込チラシをご覧ください！

- ▼問合せ 教育課体育振興係 (☎ 87-2028)



▲9月8日には3町長によるエール交換が行われ、谷町長がピンポン玉をストローで吸って運ぶ競技に挑戦する場面も。

## 子育て応援！コラム 第5回

### 「生きる力」を引き出す親子コーディネーション

NPO法人JACOT副理事長 菅野 美津枝



9月中旬の日曜日、当協会の副理事長で徳島大学大学院の荒木秀夫教授が上京され、コーディネーショントレーニング(以下：COT)メニュー「くの字」「Sの字」「ラディアン」などの新しい音源づくりをしました(1960～70年代に日本の技術者によって作られた昔ながらのリズムボックスを使って収録)。

それは、誰もが自然に身体を動かしたくなるような脳への快刺激となる楽しいリズム音で、どこか民族音楽のような、ヒトの原始的な何かに響く郷愁を覚えます。荒木教授をお送りする道すがら見上げた空は、染まり始めたあかね色と澄みわたる蒼さが交りあい、この上なく美しく「東京の空も、北海道の空と繋がっているんだなあ」と、1日も早くCOTを鷹栖町へ届けたいと思いが募りました。

前日の土曜日は月1回の葛飾区教育の日で、高砂小学校1年生の「親子COT体験会」でした。最初に保護者を対象としたCOTの説明会を設け、子育てに活かす考え方や小学校での取り組みと結果の報告をして、その後体育館で「親子COT」をしました。

参加したお母さんから「近所の5年生が1年生の息子を毎日学校へ連れて行ってくれるのですが、そのお兄さんたちがとても優しく、主張もしっかりしていて。その子たちが3年生からCOTに取り組んでいるということを今回初めて知って、すごく合点がいました。運動が苦手な私でもとても楽しくできましたし、ぜひ、我が子たちの世代ま

で継続してください」とメッセージを頂きました。

その高砂小の5年生は、1学期には体力・運動能力が都道府県平均の全国一を上回り、自己肯定感も格段に伸びていることは分かっていたのですが、地域での活動の中で彼らの自信に満ち溢れた思いやりの心や行動が発揮され、広がりや認められたことは、とても嬉しく、これまでの成果を上回るほどの新鮮な驚きでした。

荒木教授はJACOTライセンス教本に「COTは指導において人間の潜在能力を引き出し、知性・感性へと働きかける。また、子ども達への指導は、運動能力に限らず、コミュニケーション能力や生活活動の変容が日常生活の改善をもたらすことが期待できる」と述べています。

子どもたち誰もが持って生まれた「生きる力」を育み、これからの未来を「生き抜く力・一隅を照らす力」に高めていくには、「家庭(自助)」「地域(互助・共助)」「学校・行政(公助)」のみんなの力を束ねる新たなパワーとフレームワークが必要かもしれません。

その点、これからの鷹栖町にとっても大きな期待が寄せられていくことと思います。

11月に鷹栖町での「親子COT」で、皆さんにお会いできることを心から楽しみにしています。

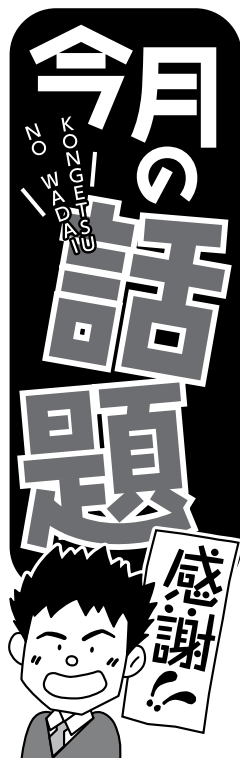
鷹栖町フェイスブックにも「トピックス」を掲載しています。

検索

鷹栖町 あったかすフェイスブック



QRコード



### 9.1 鷹栖高校生が職場を体験

鷹栖高校2年生35人が9月1日から3日間、職場実習を行いました。

実習先の一つのたかす円山幼稚園では、女子生徒3人と園児が、ダンスやおもちゃ遊び、おにごっこで汗を流していました。

実習生は「子どもたちは元気いっぱい園児のほう



内田さん撮影



から『遊ぼう！』と声をかけてきてくれ、嬉しかった」と笑顔で話していました。  
▼この記事は、役場に職場体験実習で来た、内田柝歩さん（鷹栖高校2年・左写真）が取材したものです。内田さんは「初めての取材で、質問内容を考えることや、文章を書く時の言葉の使い方が難しかったです。が、良い経験ができました」と実習の感想を話してくれました。

### 8.22 1分間の背浮きで世界記録に挑戦！

1分間ペットボトル浮きを行った人数で世界記録を目指すという取り組みがB&G海洋センターで開かれ、児童らがペットボトルを両手にプールでの背浮きに挑戦しました。

水難事故発生時の対応として背浮きが有効なことから、B&G財団が今年初めて企画したイベント。鷹栖町のほか全国33カ所で開催され、同時刻に開催されました。

弟とともに参加した小野翔太郎くん（北野小4年）は「ペットボトルを使って浮くことは初めてだったけど、思っていたより簡単にできました」と、背浮きの成功に喜びの表情でした。



### 8.29 年の差60歳以上！古希選手と少年団が交流試合

70歳以上のメンバーで構成した全道各地の9チームが集い優勝を争う「鷹栖町長杯争奪全道古希軟式野球秋季大会」が8月29日30日の2日間、町民球場などで開催され、1日目には大会のエキシビジョンとして、地元少年団混成チームと出場選手の選抜チームとで交流試合が行われました。

試合は、終盤まで0点に抑えられていた少年団混成チームが最終回に奮起し、足を絡めた攻撃で同点に追い付き、2対2の引き分けでゲームセット。はつらつとしたプレーを見せた双方の選手同士は、試合後に互いの健闘をねぎらっていました。



### 9.5 新たな交流の拠点 あったかす北野サロン

町内初となる拠点型サロン「あったかす北野サロン」が、北野地区に新たに開店した「Da・マルシェ北野店」店舗内に開設となり、オープニングセレモニーが開催されました。

サロンは店舗の営業時間内（午前9時～午後9時まで）に利用することができ、火曜日と金曜日の午前10時から午後3時までは運営スタッフが常駐します。

セレモニーでは、同サロン運営委員会委員長の増澤清さんが「サロンは語り合える場。気軽に利用してもらえる、いずれは全町的な拠点となるように輪を広げられれば」とあいさつしました。





## 8.26 北野小児童が水田の区画整理工事を見学

北野小学校4年生44人が、北野地区で行われている水田の区画整理工事の現場を見学し、同地区で進む農地再編整備の内容について学びを深めました。



## 9.1 介護の現場を経験 鷹高の初任者研修で

鷹栖高校で今年から実施している「介護職員初任者研修」で、初めてとなる現場実習が町内のさつき会各施設で行われました。



## 9.5 鷹栖の美味い物が集結 秋の大収穫祭

町内10線道路をメインストリートに開催され、新鮮野菜や新米予約券販売、15店舗が並んだ屋台営業などを目当てに訪れた大勢の来場者でにぎわいました。



## 9.20 胸に響く 鷹中生のハーモニー

「第33回鷹中祭」が開催され、この日に向けて練習を重ねてきた生徒たちの演劇や合唱に、訪れた大勢の保護者や地域住民が魅了されました。



# 霞が関から鷹栖町へ農業研修

農水省職員 及川真梨子さんが助安農場などで1カ月間

入省2年目の職員が、農林業や漁業を主産業とする自治体に滞在し、第一次産業の現場を体験する農林水産省の「農村研修」制度で、同省職員の及川真梨子さんが8月1日からの1カ月間、町内の助安農場などに滞在し、野菜の収穫や出荷作業を体験しました。

このような制度で中央官庁から研修生を受け入れたのは町内で初めて。30日間の研修を無事に終えた及川さんに、研修の成果や鷹栖町の印象について伺いました。

### —どのような研修をされましたか？

研修期間中は、基本的に助安農場さんでお世話になり、スタッフの方と同じように朝8時に出勤し、主にミニトマトや豆類の収穫作業、収穫された野菜をバックや袋に詰める作業を行いました。また、舟根輝好さん（8線11号）のお宅でトマトのビニールハウス内での作業、藤澤孝夫さん（11線7号）のお宅でトマトジュース加工のお手伝いも行いました。

### —研修の成果・感想は？

農作業は全く初めての経験でしたので、毎日がとても新鮮でした。一方で、体力的に大変な作業が多いこともわかりました。暑い中での作業はもちろん、特にじやがいもやたまねぎの収穫では身をかがめて行わなければならず、足腰への負担が大きかったです。

また、ビニールハウスの温度管理のシステムなど、農業の現場でこれほど先進的な機械が導入されていることは全くイメージしていませんでした。

### —鷹栖町のイメージはいかがですか？

農作業ばかりでしたので町全体のことばかりですが、農業者の方の思いはとても強い町だと感じます。研修期間に色々な方とお話をする機会があり「鷹栖町の魅力を高めるために：」「鷹栖町に人を呼び込むために：」と、皆さん共通して様々なアイデアを聞かせてくださいました。自分のことはかりでなく、地域への熱い思いを持ってらっしゃる農家さんがいる町で、素敵だなと感じています。

### —研修を終えてこれからについて

現在は大臣官房秘書課という部署で省内の管理的な業務を担当していますが、キャリアを進むうえで農業分野に配属となる可能性もありますので、その時には今回の経験を生かして取り組みたいです。農林水産省の職員として、本当に貴重な経験だったと感謝しています。



ありがとうございます。

A4. 和服は資源ごみとしてリサイクルは出来ません。リサイクルショップで買い取ってもらったり、一辺又は直径が50cm未満になるように裁断し、燃やせるごみとして出してください。

# 10月から一人一人に 個人番号が届きます

～マイナンバー制度（社会保障・税番号制度）が始まります～

マイナンバー制度とは、国内に住民票を有する全ての個人と企業に、1人に1つ（1法人に1つ）の番号が割り当てられ、社会保障・税・災害対策の3分野において、複数の機関が管理している個人（法人）の情報が同一の情報として効率的に活用される制度です。

最近では、マイナンバーに関する報道が各メディアで見られますが、まだ正式に導入が決まっていないことも多くあります。活用の範囲が広がる一方で「マイナンバーが悪用されないか不安だ」という声も取り上げられています。

10月から一人一人に通知カードが発送されることに伴い、このマイナンバー制度の基本的な仕組みをしっかりと押さえておきましょう。

## ◆なぜマイナンバー制度？どんなメリットがあるの？

マイナンバー制度には、次のようなメリットがあります。

### ① 余分な行政の作業を削減！効率化が図られます

行政機関や地方公共団体などで、さまざまな情報の照合、転記、入力などに要している時間や労力が大幅に削減されます。複数の業務の間で連携が進み、作業の重複などの無駄が削減されます。

### ② 国民の皆さんにも便利なことが

添付書類の削減など、行政手続きが簡素化され、国民の負担が軽減されます。また、行政機関が持っている自分の情報を確認したり、行政機関からさまざまなサービスのお知らせを受けることができます。

### ③ より公平・公正な社会を実現するために

所得や他の行政サービスの受給状況を把握しやすくなるため、負担を不当に免れることや給付を不正に受けることを防止するとともに、本当に困っている人に、きめ細かな支援を行うことができます。

## ◆どんな手続きで必要になるの？

平成28年1月から、社会保障と税、災害対策の行政手続きでマイナンバーが必要になります。

### ① 社会保障

「雇用保険の資格取得や確認、給付」「医療保険の給付請求」

「福祉分野の給付、生活保護」など

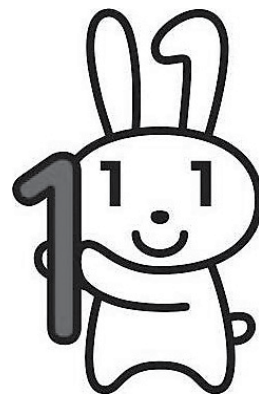
### ② 税

「税務当局に提出する確定申告書、届出書、調書などに記載」

「税務当局の内部事務」など

### ③ 災害対策

「被災者生活再建支援金の支給」「被災者台帳の作成事務」など



「マイナちゃん」



## ◆ 10月から順次届く「通知カード」はなくさないで

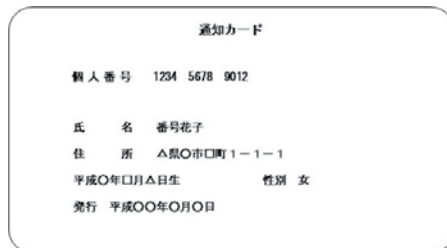
10月から順次全国民に届けられる通知カード。そのカードには赤ちゃんからお年寄りまで一人一人に割り当てられた12桁の番号（マイナンバー）が記載されています。平成28年以降、雇用保険や医療保険、確定申告といった行政手続きの際にマイナンバーの記載を求められますので、届いたカードは大切に保管してください。

### ★通知カードが届いたら、書留の中身を確認！

通知カードは簡易書留で届きます。

簡易書留の中には次の3つが入っています。

- ① マイナンバーの「通知カード」（紙製）
- ② 「個人番号カード」の申請書と返信用封筒
- ③ マイナンバーについての説明書類



◀お届ける「通知カード」のイメージ

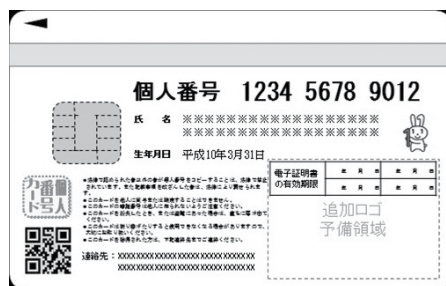
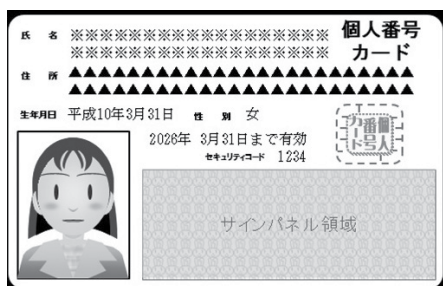
### ★個人番号カード（ICカード）を申請する方は…（申請は任意です）

個人番号カードは、顔写真の表示とともに、マイナンバー、氏名、住所、生年月日、性別が記載されたカードです。本人確認のための身分証明書としての利用やICチップに記録される電子証明書を用いて、電子申請（e-Taxなど）ができます。ICチップに資産情報や健康状態、税情報などは記録されません。

個人番号カードは、次の2通りの方法で申請することができます。

- ① 通知カードとともに郵送される申請書にご本人の顔写真を貼り、返信用封筒に入れて郵便ポストへ
- ② スマートフォンで顔写真を撮影し、所定のフォームからオンラインで申請

▶個人番号カードのイメージ  
おもて面（左）と裏面（右）



### ★個人番号カード（ICカード）の受け取り（申請された方のみ）

平成28年1月以降、カードができあがるとご本人が役場の窓口で受け取ることができます。（初回のみ無料）受け取りの際、次の3つが必要です。

- ① 自宅に届いた「通知カード」
- ② カードができあがると届く「交付通知書」
- ③ 運転免許証などの本人確認書類 ※住基カードをお持ちの方は、返却が必要です。

## ◆ 個人情報の保護と今後のマイナンバー運用の予定

個人情報の保護について、マイナンバー制度の安心・安全を確保するため、制度面とシステム面の両方から措置を講じています。また、今後の運用予定については、平成28年1月から申請者への個人番号カード交付と、各種手続きへのマイナンバーの利用が開始されます。制度の本格的な運用が始まるのは平成29年7月からで、国や市町村が情報をやり取りする専用のネットワークがつながり、各種行政サービスの申請などの手続きが簡素化される予定です。

ご不明な点などは下記のコールセンターまで（ナビダイヤル、通話料がかかります）

- ・マイナンバー制度への問合せは ☎ 0570-20-0178
- ・通知カードや個人番号カードに関する問合せは ☎ 0570-783-578

◀担当：総務企画課情報防災係▶

# 今月のお知らせ

## 子育て世帯に鷹栖町産米を支給します

《問合せ》健康福祉課子育て支援係  
 町では地方創生の取り組みの一環で、18歳以下の児童を養育する方（世帯）に鷹栖町産の新米を支給します。対象者（世帯）へは、申請書を郵送しています。



### ▼対象者

- ①平成27年9月1日（基準日）において、鷹栖町内に居住している18歳以下（18歳の誕生日後、最初の3月31日まで）の児童を養育する方
- ②基準日以降から平成27年12月31日の間に出生・転入した18歳以下の児童を養育する方
- ③基準日において、鷹栖町内に住所を有していない18歳以下の児童（他市町村の学校へ通学等）を養育する方

### ▼支給内容

対象児童1人につき、鷹栖町産米「ななつぼし」を10kg（5kg×2袋）

### ▼支給方法

希望月の中旬に直接自宅へ発送（発送月の5日まで申請が必要）

### ▼受付期間

平成27年9月28日（月）～平成28年1月15日（金）

## ご協力ください 全国都市交通特性調査

### 《北海道開発局開発調整課より》

全国の都市交通の特性や経年変化を把握するため、国土交通省では鷹栖町をはじめとする全国70市60町村と協力して、人の動きに関する交通実態調査を実施します。

町内から無作為に抽出したご家庭に調査票を郵送しますので、ご協力をお願いします。

### ▼問合せ

北海道地区サポートセンター  
 0120・337・770

## 「ゴールドコースト」友好訪問団員の募集

### 《問合せ》教育課総務学校教育係

平成28年3月に、姉妹都市ゴールドコースト市を友好訪問する団員を募集します。

### ▼募集対象・人数

中学生12人程度

※高校生は1・2年生のみ

### ▼応募資格

町内在住・在学中で心身ともに健康な方。且つ、参加者およびその家族が、町内で行われる各種国際交流活動に積極的に参加・協力できる方。

### ▼応募方法

10月19日（月）までに「参加申込書兼同意書」と「ゴールドコースト友好訪問団参加にあたって」と題した作文（800字程度）を提出。詳しくは募集チラシに記載しています。

### ▼申込書の配布場所

教育委員会窓口、プラザ・クロス10、北野地区住民センター

### ▼団員の選考

・作文審査  
 ・面接（日本語・英語）

## 無料法律相談会

旭川弁護士会が主催する法律相談会を実施します。法律問題でお困りの方はもちろん「これは法律問題だろうか？」と悩んでいる方も、この機会にぜひご相談ください。

- ▼日にち 10月23日（金）
- ▼時間 午後1時～4時
- ▼場所 役場1階会議室
- ▼相談料 無料
- ▼予約 役場窓口または電話にて予約（先着順、予約優先1人30分程度）
- ▼問合せ・申込み 総務企画課総務係



「お金のこと」や「多重債務」などのお悩みはありませんか？  
 借金問題は必ず解決できます！

生活福祉相談センター（サンホールはぴねす内）には「お金を借りたい」というご相談も寄せられます。厳しい経済状況の中「減ってしまった収入を補てんするために生活費として借金を重ねてしまった」など、切実な理由が増えているのが実情です。借金問題は債務の整理をすることで必ず解決できます！相談内容が外部に漏れることもありません。より適切な専門家への紹介などもお手伝いします。また、貸付のご希望には、家計の見直しをご助言することで家計が改善に向かうケースもあります。

## 「くらしの安心安全セミナー」開催のお知らせ

法テラス旭川法律事務所の代表常勤弁護士 富田 佳佑 氏にお話しいただきます。

- ▼日時 11月5日（木）午後2時～3時半
- ▼場所 サンホールはぴねす
- ▼申込み 健康福祉課地域福祉係（☎87-2112）



**一日相談ください**

《総務企画課企画広報係より》

行政に関する様々な相談を受け付ける「一日行政相談日」を設けます。年金や福祉、農地、税金など困っていることがありましたら、気軽ににご相談ください。

▼日時 10月19日(月)

午後1時30分～3時30分

▼場所 役場1階応接室

▼相談員

植西 富士子さん(17線13号)

☎87-4066

なお、植西さんは行政評価局から委嘱された町の行政相談員です。この日以外でも、随時、電話や手紙などでご相談に応じます。

**10月15日から31日は秋の火災予防運動**

《旭川市消防本部予防指導課より》

町内で火災が続いています。次のとおり「火の用心7つのポイント」に気を付けてください。

①家のまわりに燃えやすいものを置かない。

②寝たばこやたばこの投げ捨てをしない。

③天ぷらを揚げる時はその場を離れない。

④風の強い時はたき火をしない。

⑤子どもにもマッチやライターで遊ばせない。

⑥電気器具は正しく使い、たこ足配線はしない。

⑦ストーブには燃えやすい物を近づけない。

～つながろう あったかす～  
**福祉のつどい2015**

子どもから高齢者まで、誰もが集い・楽しみ・学び・つながる場として開催します。子ども向けイベントも多く、親子で楽しめます。

▼日にち 10月17日(土)

▼時間 午前10時～午後3時

▼場所 たかすメロディーホール

▼参加料 無料

▼内容

- ・子どもたちによる発表会
  - ・かたりBA!!
  - ・たかすの未来や夢を語ろう
  - ・3分間で伝えたい!!
  - ・プラ板で簡単ストラップ作り体験
- 申込み者には無料で昼食を配布

▼申込み・問合せ先

社会福祉協議会 ☎87-4451

**健康づくり講演会を開催します**

《問合せ》健康福祉課保健推進係

鷹栖町では2003年からの10年間で、27人が自殺で亡くなっています。自分や家族、友人の大切な命を守るため、ここるところからの健康づくり(うつ病予防)について考える講演会です。

▼日時 10月30日(金)

午後1時30分～3時30分

▼場所

鷹栖地区住民センター

▼演題

「メンタルヘルスって何?」

▼講師

相川記念病院

医師 中右麻理子 氏

▼申込み

10月23日(金)まで

**図書館の借り方**

《問合せ》教育課生涯学習係

10月以降に、鷹栖及び北野の図書館で図書を借りる場合に、図書室利用者カードが必要となります。



▼カードの登録方法

登録は、鷹栖又は北野の図書室で行ないます。

・高校生以上の方は、住所を確認できるもの(免許証、保険証、学生証など)を持参し、手続きをしてください。

・中学生以下の方は、住所の確認は必要ありませんが、学校と学年をお伺いします。また、未就学児の手続きは、保護者の方と一緒にお願いします。

**図書館の貸し出し手順**

▼図書カードと借りたい本をカウンターへお持ちください。

これまでは図書を借りる場合に、利用者名や本のタイトルをカウンターの台帳に記入していましたが、利用者カードの導入により、10月以降は機械での確認に切り替えていきます。

また、一人が一度に借りることができる図書は、これまで通り、2週間5冊までです。

▼図書の返却

利用者カードは必要ありません。これまで通り、カウンターか、返却ボックスへ返してください。

「必ずチェック 最低賃金! 使用者も労働者も」

北海道最低賃金 **764**円  
時間額

効力発生日 平成27年10月8日

## 窓口から

ご結婚おめでとうございます

新郎 新婦

旭川市 長井昌樹さん 14区 熊本 恵さん

おくやみ申し上げます

氏名 年齢

3区 後藤 金義さん 89歳

北野東 山田 信義さん 69歳

北野西 川船 チエさん 88歳

北門 石田 フミ子さん 88歳

北栄 清水 トメ子さん 85歳

あたたかい心ありがとうございました

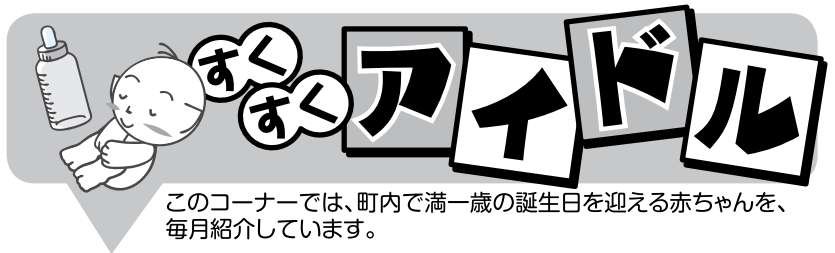
○社会福祉協議会へ

☆香典返しご寄付

小澤 哲弘さん

後藤 日出男さん

清水 幸雄さん



このコーナーでは、町内で満一歳の誕生日を迎える赤ちゃんを、毎月紹介しています。

芸を覚えて皆を喜ばせたり、どこにでも足をかけてよじ登ったりと活発な毎日です。町の皆さん、いつも可愛がってくれてありがとうございます♪



たかさき りょうへい  
高崎 凌平ちゃん

平成26年10月1日生まれ  
男の子  
敏平・千春さんの子

食べるの大好き♡里虹です。お姉ちゃんお兄ちゃんのマネをしたくて10カ月から歩き始めたよ！マイブームは手をパチパチとハ～イ♪



こばやし りこ  
小林 里虹ちゃん

平成26年10月8日生まれ  
女の子  
成光・琴美さんの子

こんにちは！楓です。食べることが大好き♡食べ物を見たら突進してヒーヒー言ってます。お兄ちゃんに遊んでもらってご機嫌です。



さとう かえで  
佐藤 楓ちゃん

平成26年10月9日生まれ  
男の子  
大輔・恭子さんの子

こんにちは♡ゆいなです。かわいい笑顔でパパ、ママ、おじいちゃん、おばあちゃんをいつもいやしてくれています♡



たかの ゆいな  
高野 結奈ちゃん

平成26年10月11日生まれ  
女の子  
貴弘・智恵さんの子

### 手作りマルシェ in たかすで

子育てママ・パパの食の安心安全セミナー

お子さんの野菜嫌いに困っていませんか…？

「野菜がもっと好きになる！」  
「野菜をもっと知りたくなる！」  
からだと心の栄養になるお話です。

▼日時 10月31日(土)  
午前11時～11時45分

▼場所  
北野地区住民センター 2階会議室

▼講師  
シニア野菜ソムリエ  
江刺 誠治氏

▼申込み・問合せ  
健康福祉課地域福祉係 ☎87-2112



### 鷹栖町版地方創生総合戦略(案)に対するご意見を募集します

鷹栖町では、人口の将来展望に係る「鷹栖町人口ビジョン」と、地方創生に向けた取組内容を示す「鷹栖町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定を進めています。つきましては、戦略に対する皆さんからのパブリックコメントを実施しますので、ご意見をお寄せください。

▼募集期間 10月20日(火)まで

▼公表場所 町ホームページ、各地区住民センター、役場総務企画課

▼意見提出方法

①直接提出(役場1階総務企画課)

②郵送(〒071-1292 鷹栖町南1条3丁目5番1号 総務企画課宛)

③FAX 87-2196

④メール kikaku@town.takasu.hokkaido.jp

※意見書様式は公表場所での設置及びホームページ上で公開しています。

▼意見交換会の実施

5人以上の団体を対象に、戦略に対する直接の意見交換会を受け付けます。希望される団体がありましたら、担当までご連絡ください。

【問合せ】総務企画課地域振興係



# いきいきわいわいカレンダー

10月	
6日(火)	お年寄り送迎日(松平老人会)
7日(水)	
8日(木)	ななかまど大学院宿泊研修(～9日まで)
9日(金)	
10日(土)	
11日(日)	
12日(月)	B&G秋のチャレンジデー
13日(火)	お年寄り送迎日(北成老人会)
14日(水)	乳幼児健診・ブックスタート ななかまど大学
15日(木)	鷹栖町地域安全運動の集い(15:00～鷹栖地区住民センター)
16日(金)	
17日(土)	福祉のつどい 2015
18日(日)	たかす円山幼稚園生活発表会、秋のクリーン作戦
19日(月)	一日行政相談日(13:30～15:30 役場)
20日(火)	お年寄り送迎日(5区福寿老人会)
21日(水)	
22日(木)	こころの健康相談(9:30～11:00 サンホールはびねす) ※予約制
23日(金)	無料法律相談会(13:00～16:00 役場)
24日(土)	
25日(日)	鷹栖・北野小学校学校芸会
26日(月)	
27日(火)	お年寄り送迎日(北斗老人会)
28日(水)	血糖コントロール教室、ななかまど大学
29日(木)	
30日(金)	健康づくり講演会(13:30～鷹栖地区住民センター)
31日(土)	手作りマルシェ in たかす (10:00～16:00 北野地区住民センター)
11月	
1日(日)	鷹栖保育園お遊戯会 たかすてき音楽祭(13:30～メロディーホール)
2日(月)	
3日(火)	お年寄り送迎日(松平老人会)
4日(水)	
5日(木)	くらしの安心安全セミナー(14:00～サンホールはびねす)

◎郷土資料館開館日(毎週水・土曜日/10:00～16:00)

## 広報に関するご意見をお寄せください

〒071-1292 上川郡鷹栖町南1条3丁目5-1  
 【電話】0166-87-2111  
 【FAX】0166-87-2196  
 ◆鷹栖町ホームページからは、メールまたはアンケートでのご意見をお待ちしています。  
 【HP】<http://town.takasu.hokkaido.jp>

## 次号は11月5日(木)発行です

《その他町長が必要と認める事業》  
 大房 弘憲様 宮崎 景助様  
 梅田 昭様 高橋 江奈様  
 田中 聡様 正木 信之様  
 松井 淳一様 原田 毅様  
 澤田 勝美様 藪電 邦恭様  
 林 賢夫様 上野 忠彦様  
 大熊 淳子様 佐野 成一様  
 小國かほる様 峯岡 睦様  
 村原 達一様 飯島 直人様  
 菅谷 陽子様 匿名98件  
 《複数の事業に対して》  
 阿戸 正明様 斉藤 新様  
 野口 早苗様 篠原 聡様  
 高田 光雄様 湯川 卓哉様  
 山下ますみ様 土生 泰山様  
 植西ちひろ様 匿名13件

※詳しくは鷹栖町ホームページにて、寄附者の同意をいただいた項目を公表しています。

## ひとの動き

【9月25日現在】

( )内は前月比

人口	7,223人(+6)
男	3,406人(+3)
女	3,817人(+3)
世帯数	3,104戸(+3)

## 9月中救急出動状況

急病	10件(10人)
一般負傷	3件(2人)
交通	0件(0人)
その他	3件(3人)
月合計	16件(15人)
平成27年累計	186件(176人)

※9/1～9/25 ( )内は搬送人員

## 平成27年の交通事故状況(鷹栖町)

8月末まで	発生件数	人身	5件
		物損	61件
	死者		1人



9月は「秋の大収穫祭」で円山幼稚園のみんなと一緒に踊ったり(写真)、札幌市で開催された「HTB イチオシ!まつり」にも行ってきたよ! 鷹栖町から市町村グルメとして出店した「鷹栖牛メニュー」は大盛況!

そうそう、8月からインターネット投票が始まっている「ゆるキャラグランプリ2015」で僕を応援してもらえるように、町内の企業に出かけて投票の呼びかけも始めたんだ。勝負はいよいよ後半戦! 投票してね!



▲このQRコードからも投票できるよ!

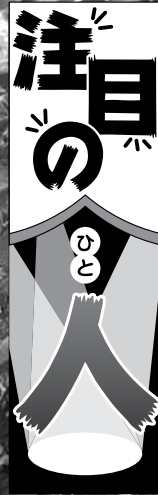
## ふるさとまちづくり応援基金へ

(8月1日～31日採納分)

《次代のふるさとを担う子どもたちの活動》  
 大山 吉孝様 山崎 雅彦様  
 八木 弓子様 今野 裕吉様  
 岡本 政彦様 近藤 辰哉様  
 相澤 秀樹様 匿名41件  
 《ふるさとを築く自然や環境を守る活動》  
 稲沢 智様 藤尾 則子様  
 藤本 和明様 井上 美紀様  
 井原 成人様 内海亜沙美様  
 大野 洋介様 近藤 邦雄様  
 匿名31件  
 《心豊かなふるさとの人々を育む活動》  
 匿名2件  
 《ふるさとを築いた高齢者の福祉活動》  
 醍醐雄一郎様 五十嵐俊樹様  
 匿名4件

今年から新たにトマトの養液栽培に取り組み三上敬一さんを紹介します。

三上さんは妻、息子さんとともに、北斗地区で水稲約10畝のほか、きゅうりをハウス6棟（約900坪）に作付け。今年はこちらに加え新たに、養液栽培の加工用トマトをハウス1棟に約800本栽培しています。



養液栽培とは、土中に定植する一般的な栽培とは異なり「肥料を水に溶かした液」によって栽培する方法。三上さんのお宅では、トロボ箱と呼ばれる発泡スチロール製の箱に土を入れて苗を定植し、その箱をビニールハウス内に並べる「トロボ箱養液栽培」を行っています。トマトはトロボ箱の中に

根を張り、肥料と水は機械によってチューブを通してそれぞれのトロボ箱へ送られます。

栽培を始めたきっかけについて「もともと遊休農地（作付していないビニールハウス）があつて、もったいないので何かに利用できないかと考えていました。養液栽培という方法があることは知っていました。が、



トロボ箱が45cm間隔で整然と並び三上さんのビニールハウス内

みかみ けいいちさん  
（14線17号）

お父さんが現在の土地に就農されてから今年で50年。昔と比べ地域に若い農業者が少なくなっていることが気がかりだと言います。

「しっかりと熟してから収穫したのは違つてしょ」と差し出してくださつたトマトのみずみずしい味に、日本の食を支えるために日々汗を流す農業者の方がそばに暮らす、鷹栖町の温かさを感じました。

昨年からの取り組みでいる舟根輝好さん（8線11号）のハウスを実際に見せてもらったことで、やってみようと思ひました」と三上さん。町の「新技術施設栽培推進事業」の助成を活用して機械設備等を整えた後、6月上旬に定植、7月中旬から徐々に収穫作業が始まったそうです。

えながら、一緒になつて進めてきました。結果的にこうすれば良かったと思うこともありますが、どれだけ収量があるかを、まさにこれから見るところです」と10月上旬まで続く出荷作業に期待を寄せます。

現在、町内でトマトの養液栽培に取り組んでいるのは三上さんを含め5軒。今後さらなる普及が進むかはまだまだ試験段階ですが「遊休農地がある方や、水稲の育苗終了後のハウス活用としては、成果が挙げればメリットがあるので」と三上さんは話します。

三上さんご自身も今年の結果を見て、来以降に育苗後のハウスへも広げていくかを判断したいとのこと。そのために忙しい合間を縫つて、栽植密度や木の成長のバランスなどに試行錯誤の日々を送っています。

「農業は、工業とは違う自然相手のこと。今回の取り組みで、自分の土地にどう合わせるかという原点を考えさせてもらっています。それが正解かわからないけど自分で見つけるしかないから」と力強く前を見据えます。



# 三上敬一さん

新たな可能性を探り  
トマトの養液栽培に挑戦する農業者

これまでの栽培経過を振り返り三上さんは「初めてのことでなので失敗できないという緊張感はありません。まずはデータづくりが大切ですから、普及センターや農協からアドバイスを受け、こちらの状況も伝

えながら、一緒になつて進めてきました。結果的にこうすれば良かったと思うこともありますが、どれだけ収量があるかを、まさにこれから見るところです」と10月上旬まで続く出荷作業に期待を寄せます。

現在、町内でトマトの養液栽培に取り組んでいるのは三上さんを含め5軒。今後さらなる普及が進むかはまだまだ試験段階ですが「遊休農地がある方や、水稲の育苗終了後のハウス活用としては、成果が挙げればメリットがあるので」と三上さんは話します。

三上さんご自身も今年の結果を見て、来以降に育苗後のハウスへも広げていくかを判断したいとのこと。そのために忙しい合間を縫つて、栽植密度や木の成長のバランスなどに試行錯誤の日々を送っています。

「農業は、工業とは違う自然相手のこと。今回の取り組みで、自分の土地にどう合わせるかという原点を考えさせてもらっています。それが正解かわからないけど自分で見つけるしかないから」と力強く前を見据えます。